

**「第46回東京モーターショー2019」メルセデス・ベンツ出展概要**

- ・ 「メルセデスの“いま”をお伝えする」をテーマに、「EQ」ブランドをはじめとする多彩なラインアップ13台を展示予定
- ・ 「Mercedes-Benz VISION EQS」「smart EQ fortwo」をアジア初公開
- ・ 新型モデル「E 350 de」「V 220 d」「A 45 S」を発表
- ・ メルセデスに親しんでいただき、お客様とブランドが“つながる”体験をご提供

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:上野金太郎、本社:東京都品川区)は、「第46回東京モーターショー2019」(会期:2019年10月24日-11月4日、会場:東京ビッグサイトほか)に、日本初公開の新型モデルを含む最新モデルを計13台出展予定です。

【メルセデス・ベンツ/スマート スタンド 概要】

出展場所: 南1ホール 出展面積: 1,600㎡

【メルセデス・ベンツ/スマート プレスカンファレンス 概要】

開催日時: 2019年10月23日(水) 10:50-11:20

登壇者:

ダイムラー社	メルセデス・ベンツ乗用車 海外セールス/マーケティング部門 最高責任者	マティアス・ルアーズ
	メルセデス・ベンツ研究開発部門 アドバンスド・デザイン担当	ホルガー・フッツェンラウブ
メルセデス・ベンツ日本	代表取締役社長兼 CEO	上野 金太郎

【出展モデル】

「メルセデスの“いま”をお伝えする」をテーマに、電動モビリティを包括するブランド「EQ」をはじめとする多彩なラインアップ計13台を展示予定です。また、本年のフランクフルトモーターショーでコンセプトカーとしてワールドプレミアし大きな話題となった「Mercedes-Benz VISION EQS」や「smart EQ fortwo」をアジア初公開するほか、新型モデル「E 350 de」「V 220 d」「A 45 S」を発表予定です。

- Mercedes-Benz VISION EQS (アジアプレミア、参考展示)
- smart EQ fortwo(アジアプレミア、参考展示)
- Mercedes-Benz E 350 de (ジャパンプレミア、発表モデル)
- Mercedes-Benz V 220 d AVANTGARDE long (ジャパンプレミア、発表モデル)
- Mercedes-AMG A 45 S 4MATIC+ Edition 1(ジャパンプレミア、発表モデル)

- Mercedes-AMG A 35 4MATIC Sedan(ジャパンプレミア)
- Mercedes-Benz CLA 200 d
- Mercedes-Benz B 180
- Mercedes-Benz C 200 Laureus Edition
- Mercedes-Benz EQC 400 4MATIC
- Mercedes-Benz GLC 300 4MATIC
- Mercedes-Benz S 560 long Chauffeured Limited
- Mercedes-AMG GT 63 S 4MATIC+

※上記出展予定モデルは都合により変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【関連施策】

● ブースを楽しんでいただくための各種コンテンツ

LINE Beacon を活用した最新情報の発信のほか、デジタルスタンプラリーなど、多くのお客様に気軽にお楽しみいただけるコンテンツをご用意しております。詳細については順次、公式 SNS アカウントを通して情報発信をまいります。

● 最新のテレマティクスサービスを体験いただけるモデルを展示

自動車通信することによりお客様の利便性を向上する先進的なテレマティクスサービス「Mercedes me connect(メルセデス ミー コネクト)」や、対話型インフォテインメントシステム「MBUX(メルセデス・ベンツ ユーザーエクスペリエンス)」など、お客様のデジタル・カーライフをサポートするサービスを体験いただけるモデルをスタンドに展示いたします。

● メルセデス・ベンツ コレクションを販売

ライフスタイルの様々な場面でご利用いただける商品「メルセデス・ベンツ コレクション」を、ブース内およびプレミアムグッズショップにて販売いたします。また、東京モーターショー記念・先行販売商品をご用意するなど、特別な取り組みも行います。(実施期間: 2019年10月24日~11月4日)

● 東京モーターショースペシャルサイトにて関連情報を配信

東京モーターショー開幕に合わせ、展示情報などのスタンド関連情報を紹介するスペシャルサイトを10月23日に公開いたします。

URL: <https://mercedes-benz.jp/tms/2019>

- 「メルセデス ミー 東京/EQ House」がサテライト会場に

メルセデス・ベンツのブランド情報発信拠点「メルセデス ミー 東京」(東京・六本木)と、メルセデス ミー 東京に隣接し、モビリティとリビングの新しいつながりを提案する施設「EQ House(イーキューハウス)」は、サテライト会場として、「EQ」ブランドをより深く体験いただけるコンテンツを多数ご用意いたします。CASE 戦略*1 が普及した近未来のライフスタイルをツアー形式でご体験いただけるほか、本年 7 月に発表した、日本におけるメルセデス・ベンツ初の電気自動車「EQC」の特別試乗会を実施いたします。(実施期間: 2019 年 10 月 24 日~11 月 4 日)また、その他「EQ」モデルを中心とする最新のラインアップに無料でお気軽にご試乗いただける「トライアルクルーズ」もご用意しております。さらに、来場者の利便性向上のため、東京ビッグサイトとメルセデス ミー 東京間の無料送迎を、メルセデス・ベンツ V クラスを用いて実施します。(実施期間: 2019 年 10 月 25 日~11 月 4 日)

【*1CASE 戦略について】

ダイムラー社が 2016 年に提唱した中長期戦略。Connected(コネクト)、Autonomous(自動運転)、Shared & Services(シェアおよびサービス)、Electric(電動化)の 4 つのキーワードの頭文字からなり、次世代の自動車社会の概念を変える言葉として広く使用されています。日本でも、対話型インフォテインメントシステム「MBUX」や、安全運転支援システム「インテリジェントドライブ」、「Mercedes-Benz Rent(メルセデス・ベンツ レント)」をはじめとするモビリティサービスなど、多くの製品・サービスを既に展開しています。